公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年7月7日

施設名	高知青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14		
業務内容	・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること ＜令和7年度主催事業＞ ・ハーブ寄せ植え教室 ・親子陶芸教室 ・わくわく楽しい絵本de読書感想文 ・流しそうめん教室 ・ワークバンド教室 ・折り紙飛行機教室 ・親子キャンドル教室 ・高校連携事業プログラミング教室 ・メモリアルアート教室 ・放課後児童クラブin青少年の家		
施設内容	研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。 利用開始日:昭和63年6月1日 延床面積:1,230.39㎡ 建築物:鉄筋コンクリート2階建 施設概要: 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室(ホール)		
職員体制	【R7当初】 職員:所長1名 事務長1名 指導員3名 合計:5名 ※所長・事務長は青少年体育館と兼務		

2 収支の状況

(単位:円)

		R06年度(決算)	R07年度(決算)	R08年度(予算)
収入	県支出金	22,226,000	23,139,000	23,997,000
	事業費収入	87,400	77,500	108,000
	収入計(a)	22,313,400	23,216,500	24,105,000
支出	事業費	541,058	580,761	600,000
	管理運営費	8,049,242	9,326,179	9,199,000
	人件費	11,478,086	10,929,620	12,116,000
	消費税	2,234,710	2,362,921	2,190,000
	支出計(b)	22,303,096	23,199,481	24,105,000
収支差額(a)－(b)		10,304	17,019	0

使用料収入	749,980	830,180	789,000

3 利用実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	平均
利用者数	14,391	17,493	20,367	17,788	18,163	17,640
利用団体数	1,046	1,132	1,174	1,153	1,341	1,169

4　業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	・利用者の声を反映させた新規事業を企画している。 ・SNSを活用したPRへの取り組み姿勢は評価できるので継続して実績に繋げてもらいたい。 ・ホームページに加え、ブログやインスタグラムを活用し、PRに努めている。 ・トップが変わり、月1回の職員会議を開催するなど、組織マネジメントの充実が少しずつ図られている。 ・職員間の意思疎通や目標の共有などが明確になりつつあると感じた。 ・高知青少年の家の利用者拡大のためには「①今までに利用している人の継続利用」と「②今まで利用したことのなかった人に来てもらう」の2つの視点で事業を展開する必要があります。今回初開催となった茶道教室は②に該当し、今までに利用したことのなかった方の誘引につながっています。年間を通じて取り組む事業はこの2つの視点に沿って整理しながら企画と実践をおこない、それぞれの効果成果について継続利用や初めて利用につながったかどうかについて振り返りと次回企画への反映をおこなってください。 ・限られた職員数ではあるが、関係の深い高知県青年団協議会、県職員、教育関係者、スポーツ団体等とのネットワークを活かし、主催事業や施設利用促進について取り組んでおり、令和6年度より利用者数を増やしていることは評価される。
②利用者へのサービス向上のための改善策	・これまでの課題であったWi-Fiを整備し、ネット環境の改善を図ったことは評価できる。 ・インスタグラムなどのSNSを用いた広報を拡大している。 ・利用者の声からも、職員のサービス・対応は良好と推測される。職員の意識の高さは評価できる。 ・いの町内の地域限定的な活動から、全県に活動範囲を増やしていくような意識が芽生えている。 ・街型の施設の強みを、一層伸ばしてほしい。 ・昨年の評価委員会の意見に対して改善・対応していることは良いです。また、利用者アンケートの回答結果についても対応を図っています。 ・R7年度青少年教育施設評価委員会での意見を受けて、ブログを活用し情報発信に取り組むとともに、SNSやWeb申込に向けて前向きに検討を始めたことは評価される。 ・職員のネットワークを活かし、平素より利用者とのコミュニケーションを心掛けることや、アンケート結果の分析・活用等により利用者サービスの向上に前向きに取り組んでいる。
③施設の運営について	・前年度の課題を改善するために尽力する姿勢がみられる。 ・利用者ニーズに応え、健全な施設運営を図るには、まずは職場環境づくりから取り組む姿勢は十分に評価できる。今後も継続して運営してもらいたい。 ・学生ボランティアの活用など、工夫がみられる。 ・職員会議を定期的に実施していることはとても素晴らしいです。職員の皆さんそれぞれが運営主体者として意識をもって日頃の行動に生かしてくださることできっと効果を発揮することと思います。 ・限られた人数ではあるが、併設されている青少年体育館と連携し合って施設運営にあたっていることは評価される。 ・今後はボランティアとの協働等に取り組んでいただきたい。

④利用実績		・利用者数、利用団体数ともに前年度を上回る実績をあげた。 ・地域の諸事情はあるものの、利用者数、利用団体数ともに増加しており評価はできる。 ・前年度を上回る実績を出している。 ・利用者の増加に努めています。 ・利用者増加につなげるため高知市だけでなく県内外に広く情報発信や施設紹介のための説明に出かけていってみてはいかがでしょうか。 ・R6年度より利用者数、利用団体数が増加しており、良好である。 ・学校団体等は減少したものの、サークル活動等への働きかけにより利用者数、利用団体数を増加させたことは評価される。 ・今後アンケート等を基に、利用者の拡大に取り組んでいただきたい。
⑤収支の状況		・対予算において、消費税の増加は致し方のないことであり、予算どおりの運営ができている。 ・健全である。 ・予算内に収まるよう工夫をしています。 ・R7年度予算に対して、管理運営費が増大したものの、事業費、人件費を抑える等、管理者の努力で適正な運営が行われていると思われる。
総合評価	A	・小中学生から高齢者までを対象に幅広く主催事業を実施しており、アンケート結果も好評であったとのことであり、十分に評価できる。 ・前年度までのB評価を職員が重く受け止め、組織自体が変化しようと努力しているように感じる。 ・有効な会議を効率的に開催し、組織マネジメントの充実を図ろうとしている。 ・新しい所長さんを迎えてこれから改善・向上を図っていかれることと思います。管理代行に関する基本的な考え方にあるように「青少年の健全育成」と「県民の社会教育活動」の実現としてどのような活動をおこなえば良いのかについて職員会議でスタッフの皆さんと話し合って、アイデアを湧かして実践していただきたいです。きっと素晴らしいアイデアが出るはずですので、期待しています。 ・R8年度より新たに着任した職員もおり、施設運営に熱意を持って取り組むとともに、アンケート結果や利用者の意見、施設を取り巻く環境の変化及びICT化に積極的に対応する姿勢は大いに評価される。

【評価の目安】
A：仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
B：おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
C：仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
D：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。
　また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。